

■武者小路実篤 小説家、画家。「世間知らず」で文壇に新風、生活と社会改造の{新しき村}建設、独特の野菜絵が人気。

むしやのこうじなあつ

内閣発足・1885= 東京市麹町で、子爵武者小路実世の末子に生まれる。母は勘解由小路家出の秋子。

国民之友始・1887= 2歳：父が若死にし、権勢には遠い家庭に育つ。

帝国憲法発布1889= 4歳：

足尾鉱毒始・1891= 6歳：学習院初等科に入学。朗読と数学が良く、体操・音楽・習字・図画・作文が苦手。

日清戦争始・1894= 9歳：

八幡製鉄始・1897=12歳：卒業し、中等学科入学。武課と体操が嫌いだった。

Bushidou・1899=14歳：慕っていた姉が死去。

ピアノ国産化・1900=15歳：お貞さんに初恋。

教科書疑獄・1902=17歳：志賀直哉と同級になり、親しくなる。

日比谷公園・1903=18歳：学習院高等学科に進む。お貞さんが帰郷して失恋。文学活動の契機となる。

日露戦争終・1905=20歳：

満鉄発足・1906=21歳：卒業、ビルから4番ながら、東京帝國大学文科大学哲学科社会学専修に入学したが、

韓国反日暴動1907=22歳：志賀直哉らと文学研究会をつくり、文学を志すようになって、中退。

アラヤ創刊・1908=23歳：\_第1詩集「荒野」を自費出版。兄の長女が誕生後まもなく亡くなり、自ら処女作とする短編「芳子」を創作。

伊藤博文暗殺1909=24歳：\_脚本の処女作「或る家庭」。

韓国併合・1910=25歳：\*学習院同窓の有島武郎、志賀直哉らと文学同人雑誌《白樺》を創刊、みずから「雑感」とよぶ独創的な感想文を精力的に発表して、同誌の代表的存在になった。自伝的作品「お目出たき人」を脱稿。

明治天皇没・1912=27歳：この年、房子と結婚。\_「世間知らず」を公刊して文壇に新風。

大正政変・1913=28歳：「或る日の一休」発表。

第一次大戦始1914=29歳：朝日新聞に「死」を発表。

21ヶ条要求・1915=30歳：\_戯曲「その妹」発表。「わしも知らない」が最初の上演。

民本主義・1916=31歳：「或る青年の夢」などの戯曲を《白樺》に発表した。

ロシア革命・1917=32歳：「日本武尊」「かちかち山」を発表。

本格政党内閣1918=33歳：\*自己の生活改造と社会の改造を願い、十数人の同志とともに宮崎県の辺境に{新しき村}の建設に着手。

ベーリー条約・1919=34歳：\_代表作「幸福者」「耶穌」「友情」を連載。

大暴落・1920=35歳：「土地」を発表。\_第二の{新しき村}を建設。同地で共働共産の生活をつづける。

原敬首相暗殺1921=36歳：「第三の隠者の運命」と「或る男」の連載を始める。

水平社結成・1922=37歳：房子と離婚し、安子と結婚。資金集めのため「現代三十三人集」を出版。戯曲「人間万歳」発表。

関東大震災・1923=38歳：長女誕生。\_《白樺》が廃刊。

護憲三派压勝1924=39歳：「だるま」を発表。\_《不二》を創刊。

治安維持法・1925=40歳：\_「新しき村」を離れ、病身の母に従う。

円本時代始・1926=41歳：「愛怨」を発表。

金融恐慌・1927=42歳：「母と子」を連載。「武者小路実篤集」出版。\_初めて油絵「南瓜」を描き、

共産党事件・1928=43歳：\_母が死去。その後しばらく失業状態で、専ら伝記を執筆し、油絵もさかんに描くようになる。

世界恐慌・1929=44歳：\_日本橋丸善で初の個展を開催し、神田に個人経営の美術品販売と出版の店(日向堂)開設。

海軍軍縮条約1930=45歳：

満州事変・1931=46歳：《星雲》創刊するも年内に終刊。《時事新報》に小説「井原西鶴」連載、

五一五事件・1932=47歳：長与善郎と二人雑誌《重光》を創刊するも3年続かず、

一二六事件・1936=51歳：欧米旅行、各地で美術館と画家を歴訪。ベルリン・オリンピックも観戦している。

日中戦争始・1937=52歳：帝国美術院会員になる。

健保+総動員・1938=53歳：岩波新書のために書き下ろし「人生論」、

第二次大戦始1939=54歳：\*誠実無比といわれる画業で復帰。埼玉県に{新しき村}の地が決定。

大政翼賛会・1940=55歳：「幸福な家族」を連載。\_「愛と死」で菊池寛賞。

日米開戦・1941=56歳：\_「新しき村」の機関誌《馬鈴薯》を創刊。

・1942=57歳：「画集と画論」刊行。\_文学報国会劇文学部長に就任。

創価学会検挙1943=58歳：中国・南京で開かれた中日文化協会主催全国文化代表者大会に参加。

\_第二次大戦中に日本の参戦を「聖戦」とたたえ、

敗戦・1945=60歳：小説「母の面影」連載、

新憲法公布・1946=61歳：\_公職追放となる。

極東裁判判決・1948=63歳：志賀直哉・安倍能成らと\_《心》を創刊。「馬鹿一」を連載、

三大事件・1949=64歳：\_「真理先生」を連載するなど、素朴にして玄妙な生命賛仰、人間贊仰の世界をきずいた。

朝鮮戦争始・1950=65歳：《新しき村》から「武者小路実篤著作集」刊行開始、

独立回復・1951=66歳：\_追放解除後、文化勲章受章。文庫になった「真理先生」がベストセラー。

メテー事件・1952=67歳：芸術院会員に復帰。「武者小路実篤作品集」刊行。

TV放送始・1953=68歳：小説「空想先生」、

自衛隊発足・1954=69歳：「武者小路実篤全集」刊行。《心》に「山谷五兵衛」連載、

55年体制始・1955=70歳：「古稀画帖」限定50部刊行。

なべ底不況・1957=72歳：小説「白雲先生」連載、

インストゥルメンツ・1958=73歳：\_経済的自活を達成した{新しき村}の40周年記念祭を開く。

美智子妃・1959=74歳：小説「馬鹿一の死」、

安保闘争・1960=75歳：《新しき村》から「この道」を創刊、「道徳論」を連載し、毎号のように挿絵解説を執筆。

大学紛争始・1965=80歳：小説「山谷五兵衛完敗」。東京都より名誉都民称号。

いざなぎ景気1966=81歳：

美濃部都知事1967=82歳：以降3年、《新潮》に小説連載、他の雑誌に随筆の長期連載を始め

霞ヶ関ビル・1968=83歳：\_「新しき村」50周年祭に臨み、

ド・ジョイ・1971=86歳：《新潮》に最後の小説「或る老画家」。《PHP》に「シリーズ 人生隨想」連載始め、

角栄金脈辞任1974=89歳：最後の油絵「蔬菜図」、

ケアンブール事件1975=90歳：《PHP》の「シリーズ 人生隨想」が34回で終り、

田中角栄逮捕1976=91歳：脳卒中で\_没した。

新潮日本文学アルバム、調布市武者小路実篤記念館、「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、「目でみる日本人物百科」、